

NIC あれこれ探検隊

このコーナーでは、日ごろあまりご紹介することがないNICの活動を取り上げます。



▲最新の2020年8月号

● 知っていますか？ 月刊英語情報誌「NAGOYA CALENDAR」の歴史

NICが発行している月刊英語情報誌「NAGOYA CALENDAR ナゴヤカレンダー」の8月号では戦後75年を記念して「Wartime in Nagoya 戦時下の名古屋」を特集し、市内の戦争遺跡や資料館などを紹介しています。

本誌は外国人に名古屋のタウン情報を紹介する英語の冊子としては最も古く、そのルーツは戦争と深い関わりがあります。前身は米国進駐軍が中区伏見(白川公園付近)に設置した将校用住宅が建つ「アメリカ村」で発行された機関誌で、その後、軍の移転に伴い1957年6月号から名古屋市内、そして1984年11月号からNICに引き継がれ今に至っています。

現在は、この地域のイベント情報や日本で生活する上で必要な生活情報をNICの英語圏職員が独自の視点で選び、わかりやすく編集し、多くの外国人の皆様にご愛読いただいています。



▲前身の機関誌「Air Defender」1952年10月6日号

▲NICのグランドオープンを告げる1984年10月号

最近では、生活の中であふれる実用的な日本語を勉強するきっかけとして「看板を読もう」というコーナーを毎回掲載しています。7月号では、新型コロナウイルスに関連した記事を書きました。

Read the Signs: Keep your distance
看板を読もう「間隔をあけて」
Signs calling for us to observe 'social distancing' are now everywhere. Here are some expressions you might see on signs when entering a shopping center, for example.

Key expressions
間隔をあけて *kankaku wo akete* (keep distance; make space [between ~ and ~])
離れる *hanareru* (to move away; to become distant)

エスカレーター、エレベーター等も間隔をあけてご利用ください。
レジは間隔をあけてお並びください。

エレベーター *erabētā* (elevator)
等 *nado* (etcetera; and so on)
ご利用 *go-riyō* (use [by you, by customers. Formal])
ください *kudasai* (please)

レジ *reji* (cash register; checkout)
お並び *o-narabi* (line up; make a line [Formal])
並ぶ *narabu* (to line up)

ナゴヤカレンダーはポルトガル語と中国語でもウェブサイトからのダウンロード版として発行しています。語学学習のきっかけにもどうぞ。

こちらから→



NIC レポート

オンラインで再開した NIC日本語教室から

新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年3月、それまで対面で行っていた大人・子ども・高校生向けの3つの日本語教室をやむなく休止することになりました。休止を学習者に伝えるときには、「学習を続けたかった」、「次はいつ始まるの」と再開を望む声がたくさん寄せられました。

本来であれば5月から教室が始まるはずでしたが、緊急事態宣言を受けて開講を見合わせることに。そんな中、少しでも日本語学習の機会を作ろうと、指導するボランティアの協力のもと、6月から手探りでオンライン教室を始めました。オンラインで日本語を教えるのは初めてのボランティアもたくさんいましたが、皆でZoom(ズーム)の事前練習会を行い、本番に備えました。



▲NIC日本語の会のオンラインによる授業の様子

オンライン教室初日、学習者もボランティアもNICの担当者も慣れない操作に戸惑い。接続の不具合も続出。それでも「久しぶりに日本語を話せた」、「安心してマスクを外して、相手の表情を見ながら話してきた」と日本語を話し、交流できる喜びに、たくさんの笑顔があふれていました。

9月からの教室は、対面で実施していますが、今回発見したオンライン教室の良さを今後の教室活動に活かしていきたいと思っています。

書き損じはがきの ご寄付をいただきました



下記団体より、NICが事務局を務める「世界寺子屋運動」名古屋実行委員会へ、書き損じはがき等のご寄付をいただきました。ご協力いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

日本労働組合総連合会愛知県連合会(連合愛知)



▲連合愛知・佐々木龍也会長(右)からの贈呈

- ・はがき 19,459枚(約91万円相当)
- ・金券類(約18万円相当)

日本郵便株式会社

- 愛知県内の各地区連絡会
(名古屋市南部・名古屋市北部・名古屋中部・西尾張・中尾張・知多・西三河・東三河)
- ・はがき 82,906枚(約390万円相当)
 - ・切手 6,237枚(約26万円相当)
- ※今年度贈呈式は実施しませんでした。

書き損じはがきキャンペーンにつきましては、こちらのQRコードからご覧ください。



ぶらり ライブラリー

特に目的があるわけではないけれど、ぶらっと来てみたら、気になることに出合える場所。このコーナーではNICライブラリーについてご紹介します。
NICライブラリー 名古屋国際センタービル3階 9:00~19:00 月曜休館

この一冊から

【國井 修 著 世界最強組織のつくり方 —感染症と闘うグローバルファンドの挑戦—】

NICライブラリーではアフターコロナ、ニューノーマルな生き方を見出す糸口、あるいはヒントとなる図書を配架しています。今回は、その中の一冊をご紹介します。

「世界エイズ・結核・マラリア対策基金(通称グローバルファンド、本部：ジュネーブ、1990年設立)」は、低・中所得国の三大疾病(エイズ・結核・マラリア)対策のために資金を提供する重要な国際機関の1つです。本書は数少ない日本人職員で



今回ご紹介した本

クイズ Q なぜ「コロナウイルス」といわれるのか。

同基金の戦略局長として働く医師、國井氏によるものです。アフリカを初め、保健医療制度の脆弱な貧しい国々で現在も多くの感染症の流行が続く中、そこに新型コロナウイルスの感染が加わると、更に深刻な事態を招くことは想像に難くありません。

グローバルファンドは、低・中所得国が新型コロナウイルス感染症に対応するために、最大10億ドルの資金を用意し、支援を強化しています。

世界では三大感染症だけで年間2億人以上が感染し、新型コロナウイルスのみと比べ、桁違いの数字です。それにもかかわらずコロナにばかり関心が向けられていることに國井氏は複雑な思いを抱きつつも、世界最強といえる組織の使命を「数字の向こうにある現場のこと、人々の幸せを考えながら、成果の最大化のために全力を注ぐこと(本書218頁)」と話します。

かつて経験したことのないパンデミックな現在。あらゆる感染症との闘いへの挑戦は今後も続きます。

現在、ライブラリーの利用にあたり、入口で、マスクの着用、手指の消毒、検温、連絡先の記入をお願いし、滞在時間を30分以内とさせていただきます。ご協力をお願いします。

グローバルに活躍する 若者たち

「大変な時だからこそ行動する」 コロナ禍でカンボジアへ手作りマスク・募金支援 名古屋経済大学市邨高校 社会科SDGs有志チーム

今年2月に開催した「グローバルユースデー2020」において、カンボジアでの活動について報告した市邨高校(名古屋市千種区)の最近の取り組みを紹介します。

世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大を続ける中、同校のSDGs有志メンバーの生徒が、カンボジアへの手作りマスクの寄付と現地のNGOが配布する石鹸を購入するための募金を呼びかけました。中心となったのは、社会科の授業でSDGsについて学び、難民支援に取り組んできた2、3年生の生徒たちです。

名古屋市民のほか、ユネスコ文化交流を続けていた韓国水原外国語高校や台湾鳳山工商高校、県外の方から計2,837枚のマスクが届き、その送料と石鹸購入のための募金も7万円以上集まりました。

「活動当初は、国内でも感染拡大が続き、地域と連携したチャリティー活動は全て中止となりました。こうした中でも、何かできないかと考え、インターネットを活用して世界のNGOと在宅生徒とをZoom(ズーム)でつなぎ、生徒たちと「知る・考える」活動を行ってきました。そして、世界が大変な今こそ国を超えて助け合い、行動すべきだと考え、この活動を始めることに決めました」とこの活動をサポートする松野全教諭は語ってくれました。



メンバーからの声

「私自身、部活の大会がなくなってしまい残念な思いはしていますが、この取り組みを通じて自分よりも辛い思いをしている人が世界中にたくさんいることに気づき、力になりたいと思いました」(永田こころさん、写真左)
「これからも、困っている人のために、みんなで考えていきたいです」(プロジェクトリーダー 稲垣空良さん、写真中央)

現地からの活動報告ショートムービーが以下の会場(UNHCR WILL2 LIVE映画祭)で上映予定!

- ①2021年1月26日(火) 千種文化小劇場
- ②2021年2月12日(金) 名古屋経済大学 名駅キャンパス

※詳細は市邨高校ウェブサイトまで!

